

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



ボランティアニュース

215号 2021年10月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦典

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

「オレンジクラブ活動再開です！」

オレンジクラブ代表三木美雪

8月2日に発令された緊急事態宣言も、ようやく9月30日宣言解除が決定しオレンジクラブの活動再開が可能となりました。会員の皆様には、今回2カ月余り活動の自粛をお願いしご協力いただきありがとうございました。また、再開にあたり少しでも患者さんご家族、おこさんのお役に立てる事が出来る事を嬉しく思っています。

きっと、緊急事態宣言中は、ボランティアの皆様方は、こども医療センターの患者さんご家族、入院、外来のおこさんの事を日々気にかけて下さっていたと思います。こども医療センターは、どうなっているのか？入院されているおこさんは、大丈夫かな？外来の患者さんは、夏休みなのでいつもより多くなっていないかな？夏の総合待合の飾り付け楽しんでくれているかな？草花は大丈夫かな？等々 感染がおさまる日を待って、辛抱強く活動再開を待ち望んでいた事と思います。

活動再開に向けて、オレンジクラブでは、安全安心を第一に、意欲的にオレンジクラブの活動を行えるように、こども医療センターと情報共有をしっかりと行います。まだ第6波の懸念もあり、未知のウイルスへの不安もありますが、経口治療薬の開発等明るいニュースもあります。皆様と一緒に1日も早い終息を願って活動したいと考えています。

また引継ぎオレンジクラブの皆様には、気を緩める事なく今まで通り**感染対策を厳守して活動**をお願いいたします。再開に向けて、新しい企画などあるグループは、院内の感染対策を踏まえて、加藤ボランティアコーディネーターと検討してまいりますので、どうかご連絡ください。感染対策をして、患者さんご家族、おこさん、センター職員の皆様にも楽しんでいただける企画も募集いたします。

しばらくぶりに、オレンジクラブ皆様にもまたお会いでき、ボランティアルームに明るい声が聞こえてくる日常が戻ってくるのを嬉しく感じます。皆様健康に気をつけて活動いたしましょう。コロナ禍の中ではありますが、こども医療センターでの活動を皆様と協力して進めてまいりますので、どうかよろしくお願ひします。



【病院からのお知らせ】

緊急事態宣言解除後も、引き続き以下の点に配慮して活動をお願いします。

- ・各自が体調管理、マスク着用（素材は不織布の方がいいです）、など基本的感染対策
- ・会場定員の半分までを活動人数の上限とする
- ・もし食事をする場合は、対面ではなく座り、会話は避ける。講堂も利用できます。
- ・部屋の換気も行ってください。

当センターは新型コロナ感染症の患者さんを受け入れております。また、予防接種2回受けた方も感染することがあります。ごきょうだいの来院はまだできませんし、面会制限もまだ一部続いていますので、活動の中できょうだい預かりと病棟や重心・肢体施設内での活動はもうしばらく再開はできません。ご理解ご協力ください。

感染対策を厳守し、無理なく安心安全と思われてから活動再開してください。

ボランティアコーディネーター 加藤

神奈川県立横浜南養護学校の「学習発表展」より

9月、こども医療センターに入院・入所されている児童・生徒さんが通学している横浜南養護学校の皆さんの恒例の学習発表展が、本館から管理棟への通路で開催されておりました。職員もボランティアの皆さんもとてもたのしみに行っている企画です。今回「病院のいいところ」と題して、ファシリティドッグのここと、オレンジクラブの事も発表されておりました。緊急事態宣言中で活動自粛のボランティアの皆さんにも是非見てもらいたいと思い、学校さんや児童さんにご家族にご相談して、一部分ではありますが、記事にさせていただきました。児童・生徒さんたちの作品は、ボランティアさんたちへの何よりも素敵なプレゼントになりました。ありがとうございます。

ボランティアコーディネーター

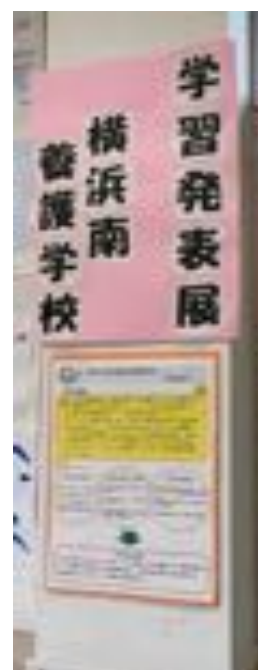
【調べた理由】

オレンジクラブを調べた理由は、みんなにオレンジクラブを知ってもらい、どんなにたいへんか、みんなにしってもらい、『ありがとうの会』を作りたいと思ったからです。』

【調べ方】【調べてわかったこと】【写真】（略）

【まとめ（考えたこと、思ったこと など）】

こども医療センターでは、「ふつうの生活に少しでも病院の生活を近づけるために、ボランティアが活やくしています。私は、オレンジクラブはかんじゃさんのためや、病気がある人をおうえんしているんだなあ～と思いました。はじめはオレンジクラブは30人以上か、以下ぐらいだと思っていたんだけど、300人って言われて、オレンジクラブはすごいがんばってくれているって、思いました。」



「猫の手を借りて」

個人活動 鈴木和男

2年半前から、こども医療センターに入院しているこどもたちへ、小さな木彫りの猫を届けています。木で作った手彫りの猫は、あまり整った形はしていませんが、1つ1つ違いがあり、どこか温かみがあって、こどもたちに喜ばれると伺っています。

私は県の職員を退職した後、ある時偶然目にした木彫りの猫の写真に目をうばわれ、その作家の先生の木彫り教室に1年間通いました。少し作品ができるようになった頃、猫好きの知人に頼まれて、出来上がった猫をあげたのですが、「とても癒される！」と大層喜ばれ、そうした効果があるという事に気づきました。現役時代の一時期、県民サポートセンターという所で仕事をしていましたが、その時、県立こども医療センターの中に「オレンジクラブ」という病院ボランティアの会があることを知りました。ふとしたきっかけで、そのことを思い出し、もしかしたら小さな木彫りの猫でも、こどもたちの役に立つ事が出来るかもしれない、と思うようになりました。それがボランティアを始めるきっかけでした。

病院に勤務する職員さんから、「コロナ禍のなか、かわいらしい猫さんがやってきてくれ、一瞬でこどもたちのハートをキャッチしました！猫の名前をつける子、枕元に置いてハグする子、手術の安全祈願をする子、それぞれが癒しと優しさと勇気をもたらっています。猫さんに見守られながら、一日も早く退所できるように、みんなで頑張ります！」というお礼の手紙をいただき、自分自身が逆に励まされています。

誰かのためにすること、自分の貴重な時間を費やすこと、見返りを期待しないで長く続けることは、自分の生活を維持しながらやることなので、それ程簡単なではないと思います。オレンジクラブでは、多くのボランティアの方々がそれぞれの個性や特技を生かして、様々な活動をされており、本当に頭が下がります。私自身もコロナ禍の中で、いま自分に出来ることを、自分の出来る範囲の中でやっていくことで、逆に私自身が励ましや生きる力をもらっています。この先、いつまで出来るかわかりませんが、いま出来る時に出来ることを少しずつ、前に向かってやっていきたいと思っています。



(かわいがってくださる入院中のおこさんにお届けします。病棟の保育士さんにお声かけて下さい。)

折り紙作品のご寄付

先日 15 年間通院されていた岩崎さんが転院することになり、折り紙作品も「今回は最後かも」とお持ちくださいました。いつもの様なたくさんの数で、思わず『何人のお子さんが喜ばれるだろう?』と思い、数えてしまいました。正確ではないと思いますが、なんと **2424** 個でした。



ぽぽんた通信④

きくちゃん

最近のぽぽんたメンバーは緊張感のある日々を送っている。
と言うのは、‘Zoomおはなし会’の為に毎週水曜日に練習時間を設けている。
ひよんな事から、このおはなし会が病棟に届けられることになった。
嬉しいやら、慌てるやら・・・
一回目は5南病棟とクリーン病棟。二回目はクリーン病棟とハイケア2病棟に
‘Zoomおはなし会’が届けられた。この‘Zoomおはなし会’に参加したメンバーは
「兎に角 初めての事なのでとても緊張したけれど、参加して下さったお子さんとお母さんの様子を画面越しに見ながらおはなし会が出来たのは嬉しかった」との事。うん、うん、そうだよ。
きくちゃんはKさんと組んで、おはなし会の準備と練習をしている。用意した絵本は10冊ぐらい。
手袋人形やわらべうたの本等々、それぞれの所要時間を計りプログラムを組んだ。
画面越しに、子ども達に会える日を夢見ながら・・・・・・
現在、緊急事態宣言中だが、日毎に感染者数は減ってきている。解除の日が近ければ本の貸し出し再開も近いだろう。

【お知らせ】

1. ZOOM シブリングサポーター研修会 11月20日土曜日 9:30~12:30

(共催: オレンジクラブ・認定NPO法人スマイルオブキッズ・NPO法人しぶたね)
病気や障がいのある子どもの「きょうだい」の支援をひろげてつながるための研修

2. 季節飾り

- ① クリスマス飾り付け 11月6日(土) 9時~
- ② 正月飾り付け 12月26日(日) 9時~

感染状況により人数の制限もあります。